

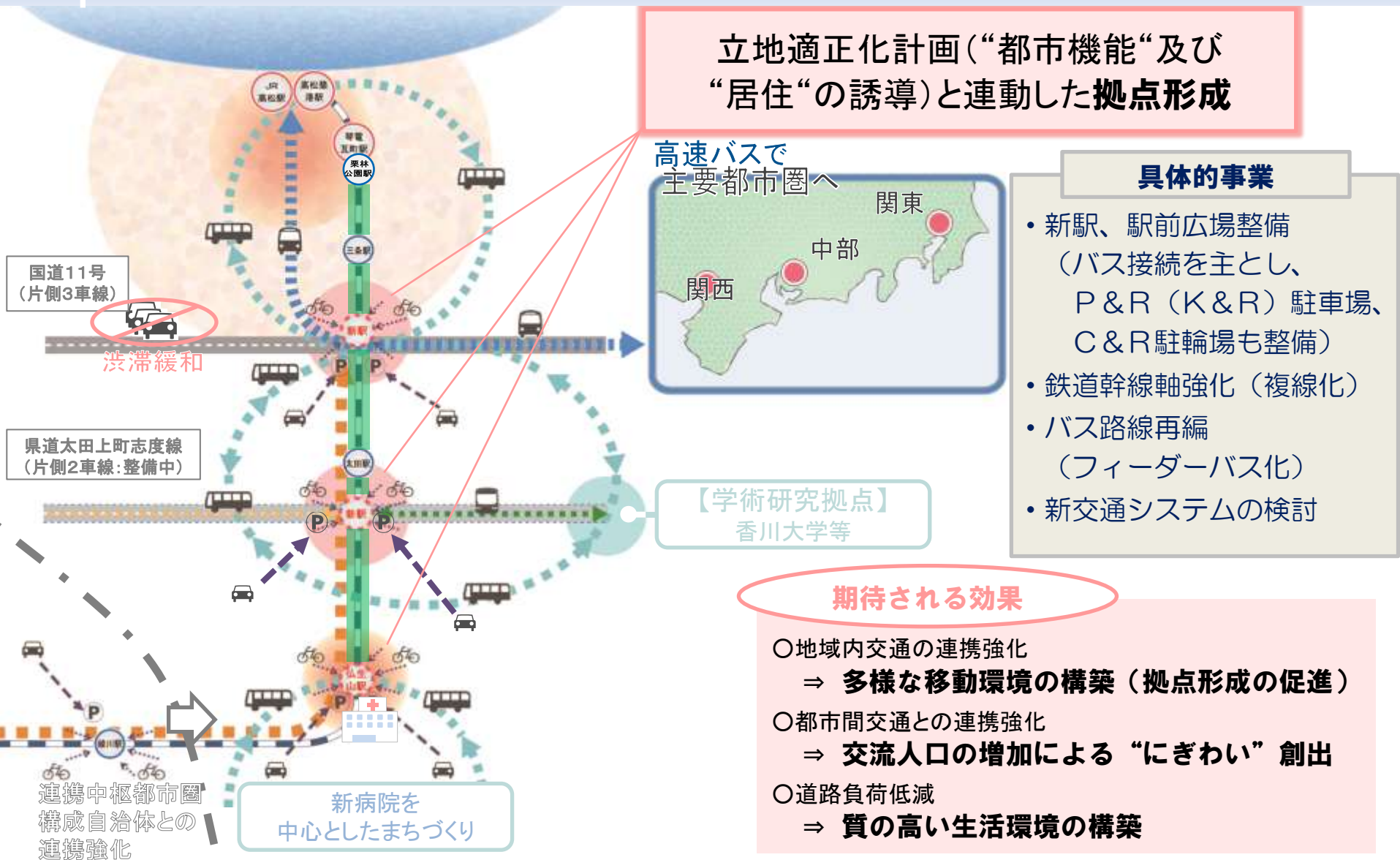
ことでん新駅(三条～太田駅間) 基本計画

平成28年3月

高松市

1 ことடன்新駅構想

(1) 全体構想



高松市が持つ“強み”を生かした「コンパクト プラス ネットワーク」のまちづくり

1 ことでん新駅構想

(2) 新駅(三条～太田駅間)整備に向けた課題及び対応方針

整備に向けた課題

課題①「新駅(三条～太田駅間) 附帯施設整備」

駅整備の効果が最大限に発揮され、周辺環境への様々な影響が支障とならない
附帯施設配置の検討

高速バス
路線バス再編によるフィーダーバスの結節
タクシーや駅への送迎車両
自転車



**多様な交通手段との結節を可能とする
駅前広場の整備が必要**

課題②「事業費の確保」

国土交通省鉄道局、都市局等の補助制度を最大限活用した事業スキームの確立

2 事業概要

(1) 駅前広場整備方針

駅舎

- ・国道(片側3車線)で駅勢圏が分断され、市内中心部へ向かう通勤、通学を目的とする利用者が駅利用の大半を占め、特に、国道南側からのアクセスが見込まれる
- ・高架縦断勾配の条件から、駅舎は国道南端から北側にしか設置不可

国道南北**双方からのアクセスが可能となる**駅舎

駅前広場

高速バス

- ・上り方面(国道北側車線を走行)定刻発車のための停車時間に配慮したバース数の確保
⇒国道北側にターミナルを設ける方が望ましい
- ・下り方面(国道南側車線を走行)の送迎用駐車車両の待ち時間に配慮した駐車場の確保

路線バス

- ・路線バスの再編により、既存系統に加え、複数路線の接続が可能となるバース数を確保し、かつ、起終点(ターミナル)となる駅前広場の設置

- ・高速道路、鉄道高架の橋脚、水利施設が支障
 - ・既存信号交差点が近接し、新規信号機の設置不可
- 現信号機を定時式にし、国道への入出庫を可能とする交差点改良が必要

普通車

- ・国道南北各方面からの送迎車両(K&R)及びタクシーに配慮した駐車場の確保

自転車

- ・国道南北各方面からの利用に配慮した駐輪場の確保

詳細な配置計画については、今後、都市計画決定等の手続きを経て決定

(出典:ゼンリン電子地図帳 Zi16『Z16EB 第1016号』)

2 事業概要

(2) 事業概要

駅舎

項目	内容	項目	内容
所在地	高松市太田下町	駅管理施設	事務所・休憩室:約20㎡
駅舎形式	橋上駅タイプ (相対式プラットホーム85m)	便所	男性用、女性用 多目的トイレ 計:約30㎡
構造種別	鉄骨造		
最高高さ	約13.2m	周辺道路	国道11号バイパス:幅員34.5m (高速道路橋脚部を含め40.0m)
昇降設備	階段、エレベーター(11人乗り):4基 (北側2基、南側2基)		

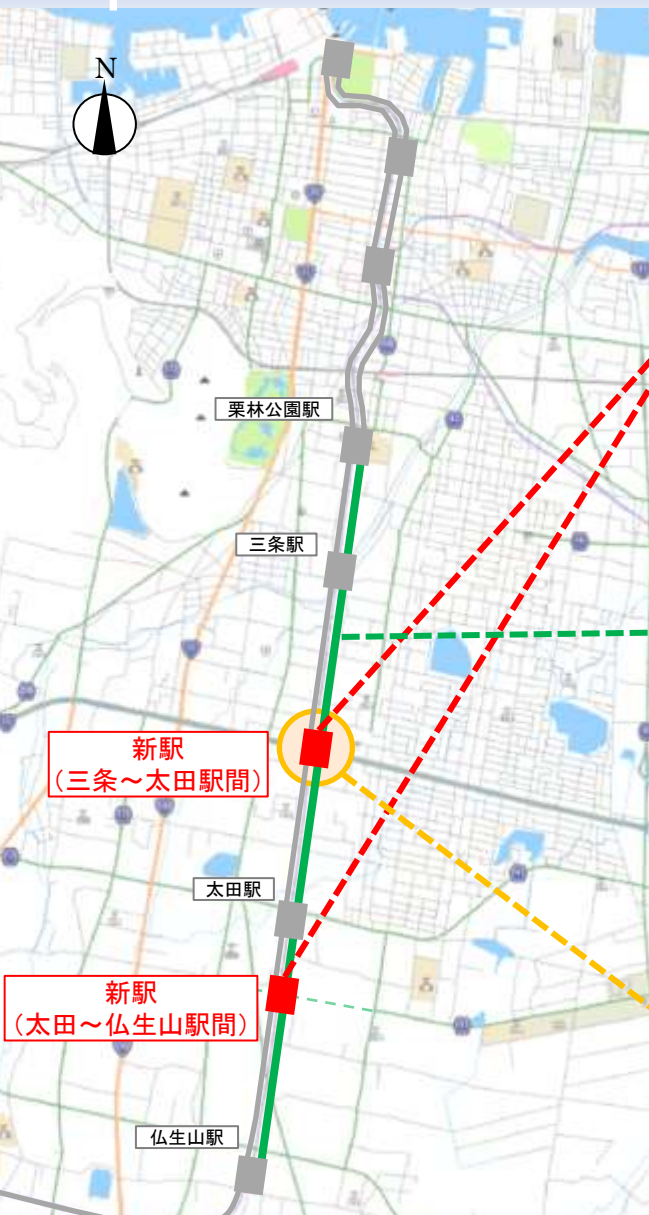
駅前広場

- バスバース : 高速バス2台、路線バス2台
- 駐輪場 : 約600台
- タクシーベイ : 2台
- 送迎用駐車場 : 身障者等用1台を確保し、計2台

※上記以外に必要となる駐輪場、駐車場等については高架下及び国道南側で確保

3 事業スキーム

(1) 活用を想定する事業スキーム



鉄道事業

駅舎整備事業

- 幹線鉄道等活性化事業費補助
〔形成計画事業(コミュニティ・レール化)〕
 - ・ 対象: 駅舎(ホーム、上屋、昇降設備、トイレ等)
※本件では下記の施設、設備を除く)
 - ・ 補助率及び交付対象: 1/3、法定協議会

複線化事業

- 交付税〔地域鉄道支援に対する地方財政措置〕
 - ・ 対象: 鉄道事業者による施設投資に対し、地方公共団体が行う補助

街路事業

駅前広場整備事業関係

- 街路事業
 - ・ 対象: 駅前広場(バスターミナル、駐輪場等)
 - ・ 補助率及び交付対象: 55/100、地方自治体

3 事業スキーム

(2) 事業費内訳

※各事業の概算事業費は、平成27年度時点における単価で算出したものであり、事業着手後の実施設計により増減する可能性がある。

鉄道事業

区分	概算事業費	負担内訳	事業主体
駅舎整備 (三条～太田駅間)	9.5億円	国(1/3)を基本とし、 県、市負担については 調整中	高松市総合都市交通計画推 進協議会 ※協議会からの補助により、 ことでんが施工
複線化事業 (栗林公園～仏生山駅間)	17.7億円	ことでん(1/3)を基本とし、 県、市負担については 調整中	ことでん
【参考】駅舎整備 (太田～仏生山駅間)	2.8億円	国(1/3)を基本とし、 県、市負担については 調整中	高松市総合都市交通計画推 進協議会 ※協議会からの補助により、 ことでんが施工
計	30.0億円	※基本構想策定時の事業費(約21億円)から、建設資材、人件費高騰 及び複線化区間の安全対策費を勘案した結果、増額となっている。	

街路事業

区分	概算事業費	負担内訳	事業主体
駅前広場 (三条～太田駅間)	11.5億円	国(55/100):6.3億円 市(45/100):5.2億円	市

4 事業スケジュール

(1) 事業スケジュール

